

# 学校だより 6月号 しもながや



横浜市立下永谷小学校

## 地域の皆様、保護者の皆様へ感謝 ～ 登下校の見守りを通して ～

学校長 外山 芳

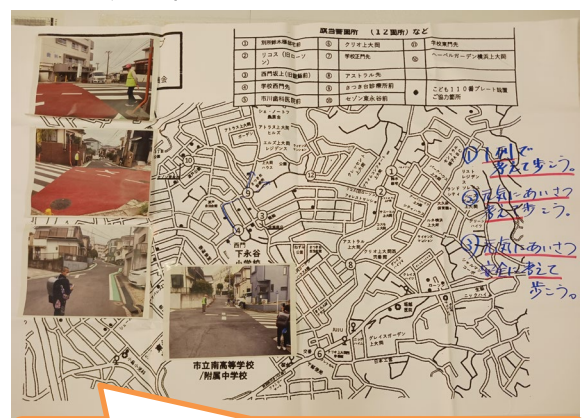
皆様ご存知の通り、本校は上大岡駅から徒歩圏内、丘の上にある学校です。学区はとても広く、バス通りもあります。バス通りを入ると住宅街になりますが、交通量が多いです。このような学区の状況から、子どもたちの登下校は、長年、地域の見守り隊「木の実サポーター」の皆様や保護者の皆様のご協力のもと、年間を通して、見守りが行われています。また、子どもたちの登校は、登校班で実施されています。

登校の時間は、8時5分から15分です。その時間が近づくと、地域の皆様と保護者の皆様が、学区の各ポイントに立って、見守りをしてくださっています。見守りが始まると、班長を先頭にした登校班の列が、きれいに一列になって現れ、正門、東門、西門の3ヶ所にそれぞれ入っていきます。体の小さな1年生を気遣いながら安全第一でゆっくりと歩く登校班の姿を見ると、とても微笑ましいです。

下校の時刻になると、地域見守り隊「木の実サポーター」の皆様が、各担当のポイントに立ち、子どもたちに声をかけながら安全な下校になるように支援をしてくださっています。前述しましたように、本校の登下校の見守りは、年間を通してです。子どもたちの安全を守るために、雨の日も風の日も変わらず毎日、活動を続けることは、決して並大抵のことではありません。地域の皆様、保護者の皆様の継続したご尽力が、子どもたちの安心と笑顔につながっています。心よりお礼申し上げます。

さて、5月1日に、「学区めぐり」が行われました。地域の皆様、保護者の皆様とともに通学路を実際に歩いて、子どもたちが特に注意を要する危険箇所、修繕箇所等を確認する機会をもちました。皆様と危険箇所等を共有し、改善策を考えるこの取り組みは、子どもたちの安全につながる大切な時間となりました。学校としては、今後、学校運営協議会でも共有し、御意見をいただいたり、見守りのよりよい取組を考えたいと思います。

一方、子どもたち自身も先日、登校班で集まり、会議を行いました。地図等で危険な場所を確かめたり、安全な歩き方、登下校の仕方等について話し合ったりする機会をもちました。こうした活動を通して、子どもたちは、「地域や保護者の皆様の支えがあって安心して登下校できている」こと、「自分の身は自分で守る」ということの大切さに気付く姿がありました。皆様の毎日の見守りが、子どもたちの感謝の心や周囲への気遣い、そして、主体的に行動する力の育成につながっていると感じています。



登校班で集まり、地図で危険な場所を確認

安全な登下校のために、日々ご尽力いただいている地域の皆様、保護者の皆様へ改めて感謝いたします。ありがとうございます。